

# ウォーターセーフティーキャンペーン

あなたは知らないうちに  
こんな危ないことをしていませんか？

## 海で

夏になると、海や川に行ったり、水遊びをしたりすることが多くなります。しかし水の中は、陸上とは違って、ちょっとした不注意でケガをしたり、いのちを失ったりすることがあります。この絵のお友だちはどうして危ないのでしょうか？みんなで考えてみよう。



海上における事件・事故の  
緊急通報用電話番号は  
「118番」(海上保安庁)

4 河口のそばで遊ぶ  
※5ページの川での  
危ない場所や行為  
をチェック

**離岸流**  
岸から沖に向かって流れる水の流れ

**逆潜流**  
岸によせてきた波が海底の傾斜に沿って沖に戻る水の流れ

**潮汐**  
海水面が昇降する現象

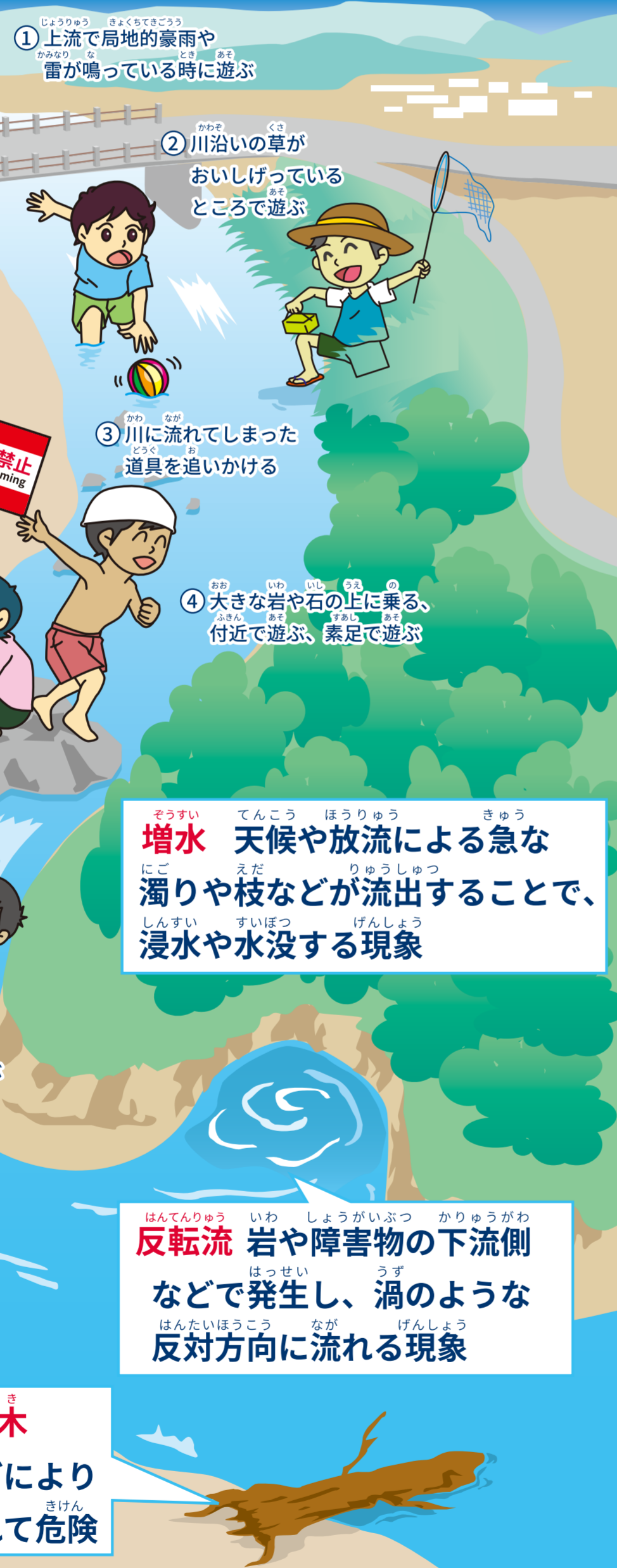
**自然災害**  
(台風、地震、雷など)の可能性があるときには、水辺には近づかないようにしましょう。  
注意報や警報が出ていないか、その地域の避難場所はどこかなどを確認してください。

## 川で

**遊泳禁止**  
No Swimming  
遊泳禁止場所、遊泳禁止発令時は泳がない

- 健康チェック項目**
- 熱はないか
  - 風邪をひいていないか
  - 疲れている様子はないか
  - 食欲はあるか
  - 顔色はよいか
  - 目や耳の病気はないか
  - 寝不足ではないか

楽しい水遊びが原因で病気になるかもしれないよう、健康チェックを済ませてから水遊びをする習慣をつけましょう。



**増水** 天候や放流による急な濁りや枝などが流出することで、浸水や水没する現象

**反転流** 岩や障害物の下流側などで発生し、渦のような反対方向に流れる現象

**川に倒れ込んだ木**  
大雨や強風などにより流木などが倒れて危険

## おぼれている人を見つけたらどうするの？

子どもたちだけでは助けられない、水の中に入らない。

「おぼれている人」や「誤って水に落ちてしまった人」を見つけたときの対処法

### ①119番へ連絡しよう

連絡できたら指示を聞く。  
連絡できない場合は、連絡できる人を探しに行く。  
※携帯電話を持っている人に知らせましょう。



### 救急隊が到着するまでにできること

### ②浮く物を投げる

浮く物がある場合は、お腹を目掛けて投げ、つかまるように指示する。

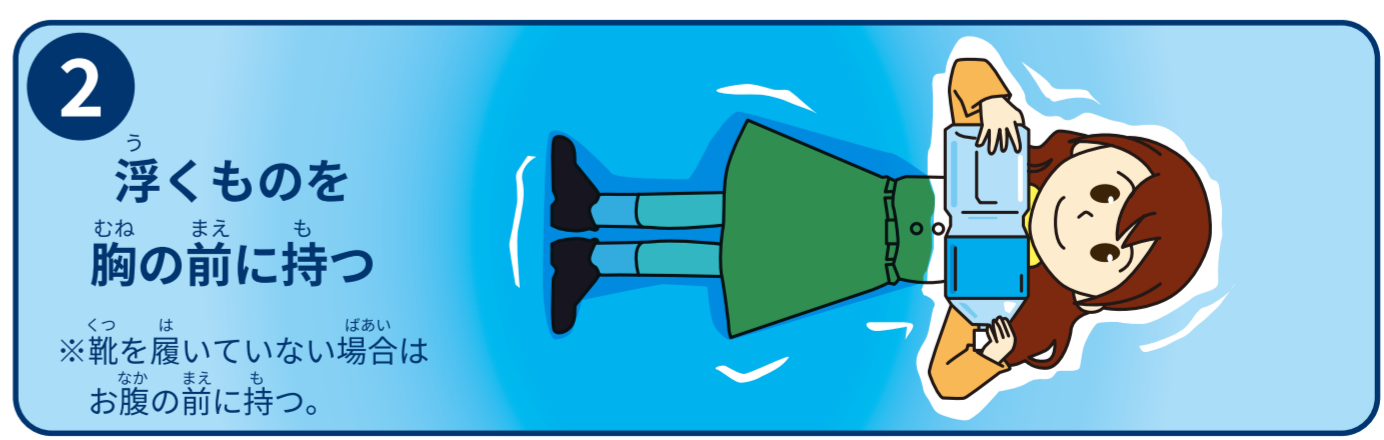
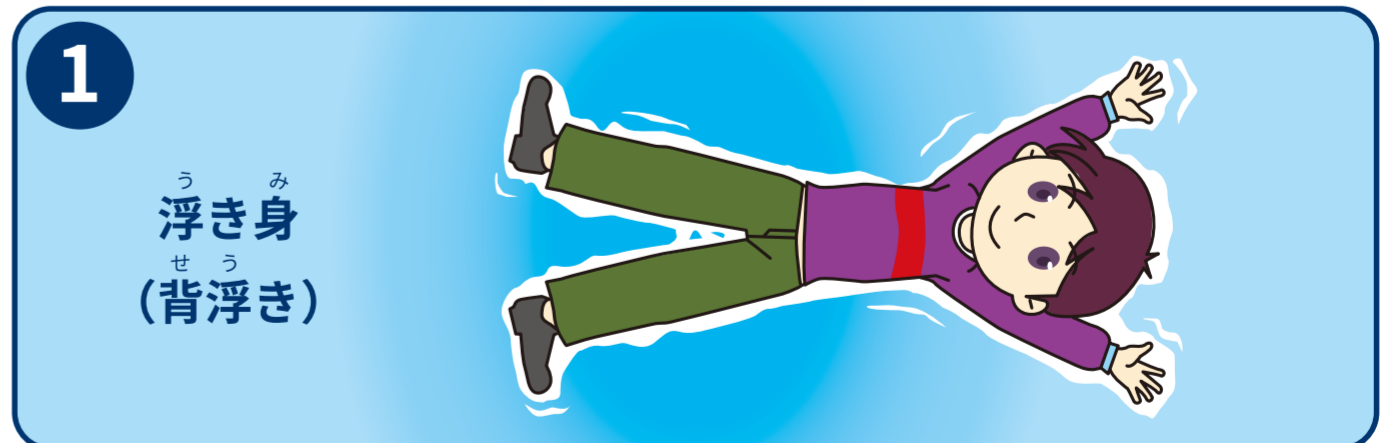


**水に浮く物リスト** ペットボトル・ランドセル・くつ・ボール・ビニール袋 ◎他に何があるのか考えてみましょう。

## 水に落ちたら落ち着いて浮き身の姿勢をとろう

水の事故の多くは岸から3m以内でおきています。それは誤って水に落ちたことによりパニックになってしまい、岸に戻りたくても戻れないからです。誤って水の中に落ちてしまったら、あわてて岸に戻ろうとするのではなく、まず落ち着いて浮き身(背浮き)の姿勢をとりましょう。衣服や靴は着た状態の方が水に浮きやすい為、脱がないようにしましょう。

**大原則は「浮いて、待とう！」**



**浮き身を上手につくるポイント**

- おなかを上げる
- 手足をのばす
- 頭のうしろを水につける
- 全身の力を抜く



ハンドブックを携帯していざというときに備えましょう！



ウォーターセーフティーキャンペーンに関する情報はこちらから  
※ウォーターセーフティークイズの答えもチェック！